

科目名	地域健康・公衆衛生看護学特論 Topics in Community Health Systems Nursing
科目番号	01EA201
授業形態	講義(80%)と演習(20%)を併用する。
標準履修年次	1・2年次
実施学期・曜時間等	春AB 水曜5・6時限 (日時の変更あり)
実施場所	共同利用棟B206
単位数	2単位
担当教員名	山海 知子 Tomoko Sankai 田宮 菜奈子 Nanako Tamiya 我妻 ゆき子 Yukiko Wagatsuma 大宮 朋子 Tomoko Oomiya 出口 奈緒子 Naoko Deguchi
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること
授業の到達目標 (学習成果)	1. 自らの看護研究の目的、方法、結果とその意義、今後行うべき研究について発表できる。 2. 自らの発表内容に対する質問とコメントを理解し、討論の内容を以後の研究の質の向上に反映できる。 3. 他の学生の発表内容から、その研究の意義と課題を理解し、その向上のためになる質問や討論ができる。 4. 看護学に関する法律と研究方法を理解し、適切な看護研究を計画できる。 5. 看護学に関する生命倫理学的問題点を踏まえ、適切な看護学研究を計画できる。 6. 地域で生活している人々の健康実態を理解し、健康支援活動に必要な看護理論・基本概念、看護技術について説明できる。
他の授業科目との関連	地域健康・公衆衛生看護学演習
履修条件	本授業に関連する基礎的な知識を有すること
授業概要	地域で生活する人々への健康支援活動に必要な看護理論、基本概念、看護技術について、公衆衛生看護学や保健医療に関する最新の研究成果を題材として学習し、生活の質の向上を目指した地域の健康システム看護について教授する。
キーワード	公衆衛生看護学(Public Health Nursing),ヘルスプロモーション(Health Promotion),地域ヘルスケアシステム(Community based Health Care System)
授業計画	1. 4/10 地域健康システム看護学特論のねらいとすすめ方 山海 知子 2. 4/10 公衆衛生看護の最近の動向とヘルスプロモーション 山海 知子 3. 4/17 公衆衛生看護と看護理論 大宮 朋子 4. 4/17 公衆衛生看護と地域ヘルスケアシステム 大宮 朋子 5. 4/24 学校における健康支援の実際(1) 出口 奈緒子 6. 4/24 学校における健康支援の実際(2) 出口 奈緒子 7. 5/8 公衆衛生看護学分野における質的研究 大宮 朋子 8. 5/8 公衆衛生看護学分野における量的研究 大宮 朋子 9. 5/15 公衆衛生看護学分野における介入研究 山海 知子 10. 5/15 公衆衛生看護学分野の研究における今後の展望 山海 知子 11. 5/22 介護保険の理念と変遷 田宮 菜奈子 12. 5/22 介護保険の現状 田宮 菜奈子 13. 5/29 事業所における健康支援の理論 山海 知子 14. 5/29 事業所における健康支援の方法 山海 知子 15. 6/5 事業所における健康支援の実際(1) 山海 知子 16. 6/5 事業所における健康支援の実際(2) 山海 知子 17. 6/12 疫学研究デザイン(1) 我妻 ゆき子 18. 6/12 疫学研究デザイン(2) 我妻 ゆき子 19. 6/19 研究プロトコール作成(1) 我妻 ゆき子 20. 6/19 研究プロトコール作成(2) 我妻 ゆき子
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義:24時間、演習:6時間 授業終了時に示す課題について次回の授業までに予習をすること

成績評価方法	<p><評価方法と評価配分> レポートにて評価する。配分は100%。 レポート課題: 地域に暮らす人々の健康問題を一つ選び、その健康問題解決のための活動について、看護に用いられる理論やモデルを適用して、あなたの考えを論述してください。 レポート提出期限: 6月30日</p> <p><評価基準> 1. 適切な問題を設定できる。 2. 設定した問題の背景を説明できる。 3. 設定した問題に対してどのような課題があるのかを指摘できる。 4. その解決策について、先行研究がどのように述べているかを挙げるができる。 5. 既存の意見をふまえて、自らの考えを述べるができる。</p> <p><評価基準> A+: 上記1~5を自身で達成できる。 A: 上記1~5をほぼ自身で達成できる。 B: 上記1~5を教員の指導を受けながら達成できる。 C: 上記1~5を教員の指導を受けながら概ね達成できる。 D: 上記1~5について教員の指導のもとでも達成できない。</p>
教材・参考文献・配布資料等	随時提示する
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	遅刻、途中退出、やむを得ず欠席する場合は事前に必ず連絡をすること